大阪健康安全基盤研究所で実施する研究に、医療機関を通じて情報を提供された方へ

当所では、病原体の流行状況や治療薬の有効性などを把握する研究のため、医療機関を通じて情報の収集および分析を行っています。提供された情報の分析結果から得られた病原体情報は、学術誌や学会発表を通じて社会に還元し、感染症の様々な対策を開発・実行するために活用されます。

なお、本研究に使用しました情報につきましては、研究終了後、別の研究で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		臨床検体から分離した *Streptococcus anginosus* group の病原性評価に関する研究（2608-01）
1.	研究対象者	研究協力機関である八尾徳洲会総合病院及び兵庫県立こども病院において *Streptococcus anginosus* group 感染症として診断された方を研究対象者とします。
2.	研究概要	*Streptococcus anginosus* group（以下 SAG）は *S. anginosus*、 *S. intermedius*、*S. constellatus* の 3 菌種から構成され、普段から口の中や消化管、鼻やのどなどにいる細菌の総称です。通常は病気を引き起こしませんが、臓器や組織に膿がたまる感染症（膿瘍）や、血液中に菌が入り込む感染症などの原因となることがあります。また、胃がんなどの消化管のがんとの関連も研究されていますが、詳しいことはまだ十分に分かっていません。 本研究では、研究協力機関である八尾徳洲会総合病院及び兵庫県立こども病院から提供された SAG 菌株と患者情報（性別、年齢、発症日、検体採取日、診断名、臨床症状、抗生物質の投与の有無）を用います。菌の解析結果と患者情報を照らし合わせ、菌の特徴と感染部位、病気の重症度との関連を明らかにすることを目的とします。
3.	研究期間	令和 8 年 11 月 11 日～令和 11 年 3 月 31 日
4.	利用又は提供を開始する予定日	令和 8 年 11 月 11 日
5.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：なし 情報：性別、年齢、発症日、検体採取日、診断名、臨床症状、 抗生物質の投与の有無
6.	外部への試料・情報の提供	下記共同研究機関へは試料・情報は提供しません。
7.	研究責任者	細菌課主幹研究員　山口貴弘
8.	共同研究機関	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部　教授　田端厚之

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」
大阪健康安全基盤研究所
細菌課

電話番号：06-6972-1369